

桐生商工会議所管内
景況調査報告書

第107回

(平成26年10～12月期)

平成27年2月
桐生商工会議所
桐生中小企業相談所

調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。
2. 調査時点 平成26年12月1日
3. 調査期間 平成26年10～12月期
4. 調査対象企業数 396企業（うち回答企業数157企業）

5. 調査対象業種

①建設業（回答企業数20企業）

建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他

②商業・サービス業（回答企業数75企業）

卸売業、小売業、飲食業、サービス業

③製造業

機械金属関連業（回答企業数31企業）

鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他

繊維工業（回答企業数31企業）

撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

.....
D Iとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d x）
の略で、このD Iの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。

.....
このD Iは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。

.....
D Iについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。
.....

1. 景況の動き

【業況DI】

今期の業況DIは、全体で**-28**。前期（-29）比は+1ポイントであった。また前年同期（-21）比では7ポイントのマイナスとなった。

業種別では、**建設業+5**（前期比±0、前年同期比-17）、**商業・サービス業-46**（前期比-9、前年同期比-4）、**機械金属製造業-17**（前期比+18、前年同期比-20）、**繊維製造業-20**（前期比+4、前年同期比+6）となった。

【採算DI】

今期の採算DIは全体で**-33**。前期（-37）比は+4ポイント、前年同期（-29）と比べると4ポイントのマイナスとなった。

業種別では、**建設業-5**（前期比-10、前年同期比+6）、**商業・サービス業-49**（前期比-8、前年同期比-2）、**機械金属製造業-23**（前期比+12、前年同期比-26）、**繊維製造業-20**（前期比-4、前年同期比+10）となっている。

【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で**-31**。前期（-25）比は-6ポイント、前年同期（-20）と比べると11ポイントのマイナスであった。

業種別では**建設業±0ポイント**（前期比+18、前年同期比-13）、**商業・サービス業-46ポイント**（前期比-9、前年同期比-12）、**機械金属製造業-35ポイント**（前期比±0、前年同期比-25）、**繊維製造業-8ポイント**（前期比+3、前年同期比+4）となっている。

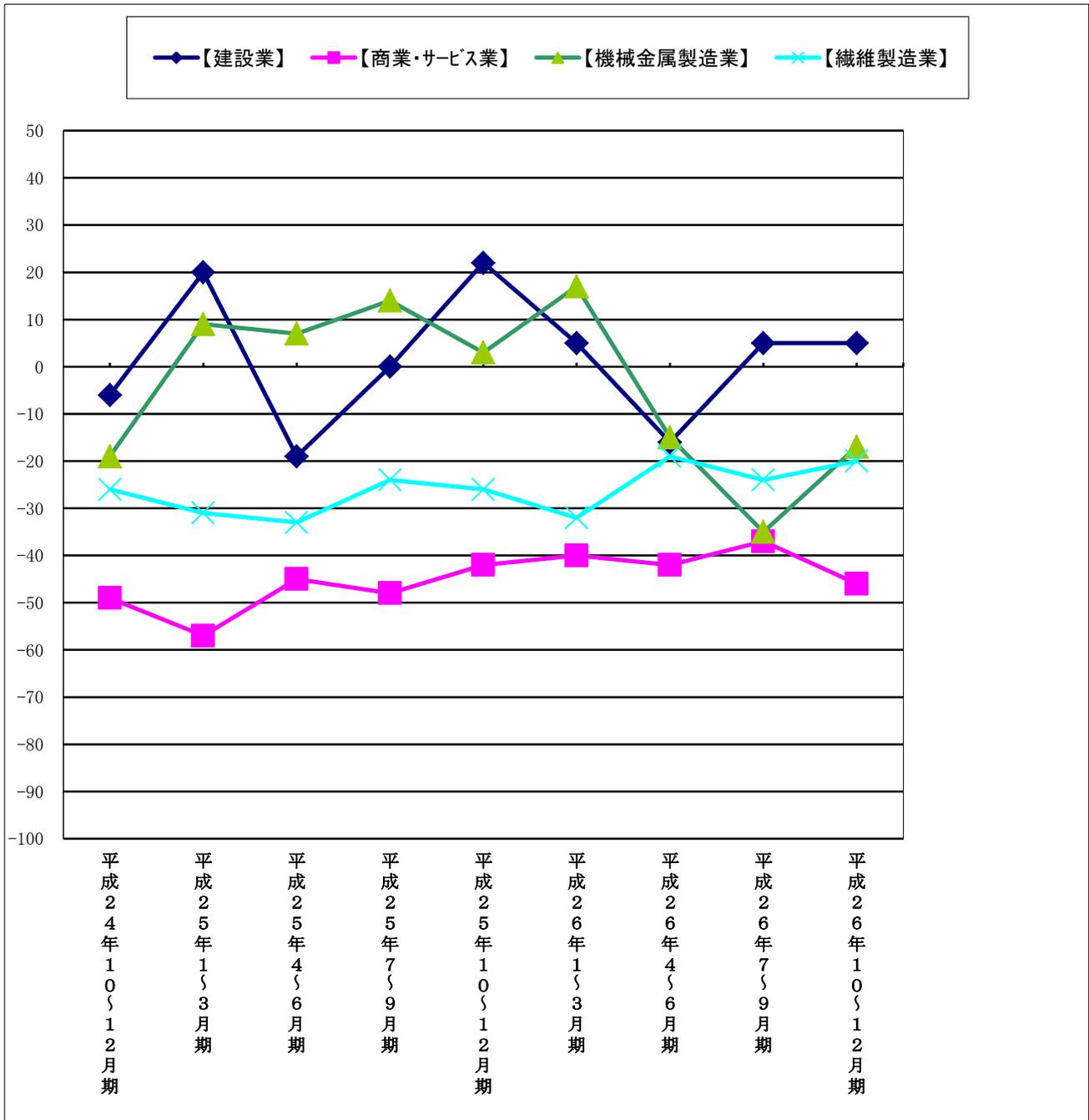
【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「材料価格の上昇」（15%）「請負単価の低下・上昇難」（13%）**商業・サービス業**では「需要の停滞」（17%）「消費者ニーズの変化への対応」「購買力の他地域への流出」（11%）、**機械金属製造業**では「需要の停滞」（17%）「原材料価格の上昇」（12%）、**繊維製造業**では「需要の停滞」（21%）「製品単価の上昇難」（17%）となっている。

業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
平成24年10～12月期	-6	-49	-19	-26
平成25年1～3月期	20	-57	9	-31
平成25年4～6月期	-19	-45	7	-33
平成25年7～9月期	±0	-48	14	-24
平成25年10～12月期	22	-42	3	-26
平成26年1～3月期	5	-40	17	-32
平成26年4～6月期	-16	-42	-15	-19
平成26年7～9月期	5	-37	-35	-24
平成26年10～12月期	5	-46	-17	-20

[平成24年10～12月期] から [平成26年10～12月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

- 今期業況 **今期の業況D Iは+5**。前期比は±0、前年同期比は-17であった。
業種別では**建築・大工業 [+25]、土木業 [±0]、電気工事業[±0]、その他 [-33]**であった。
- 来期業況 **来期業況予測のD Iは±0**。前期比で+18、前年同期比では-13ポイントであった。

【商業・サービス業】

- 今期業況 **今期の業況D Iは-46**。前期比は-9、前年同期比は-4ポイントであった。
業種別では、**卸売業 [-25]、小売業 [-50]、飲食業 [-14]、サービス業では [-60]**となっている。
- 来期業況 **来期業況予測のD Iは-46**。前期比-9、前年同期比では-12ポイントとなった。

【機械金属製造業】

- 今期業況 **今期の業況D Iは-17**。前期比では+18、前年同期比では-20ポイントであった。
業種別では、**鉄鋼業 [±0]、金属製品業 [-25]、一般機械器具業 [±0]、電気機械器具業 [-50]、輸送用機械器具業 [+25]、精密機械器具業 [+33]、プラスチック製造業 [-50]、その他 [-50]**となっている。
- 来期業況 **来期業況予測のD Iは-35**。前期比±0、前年同期比-25ポイントとなった。

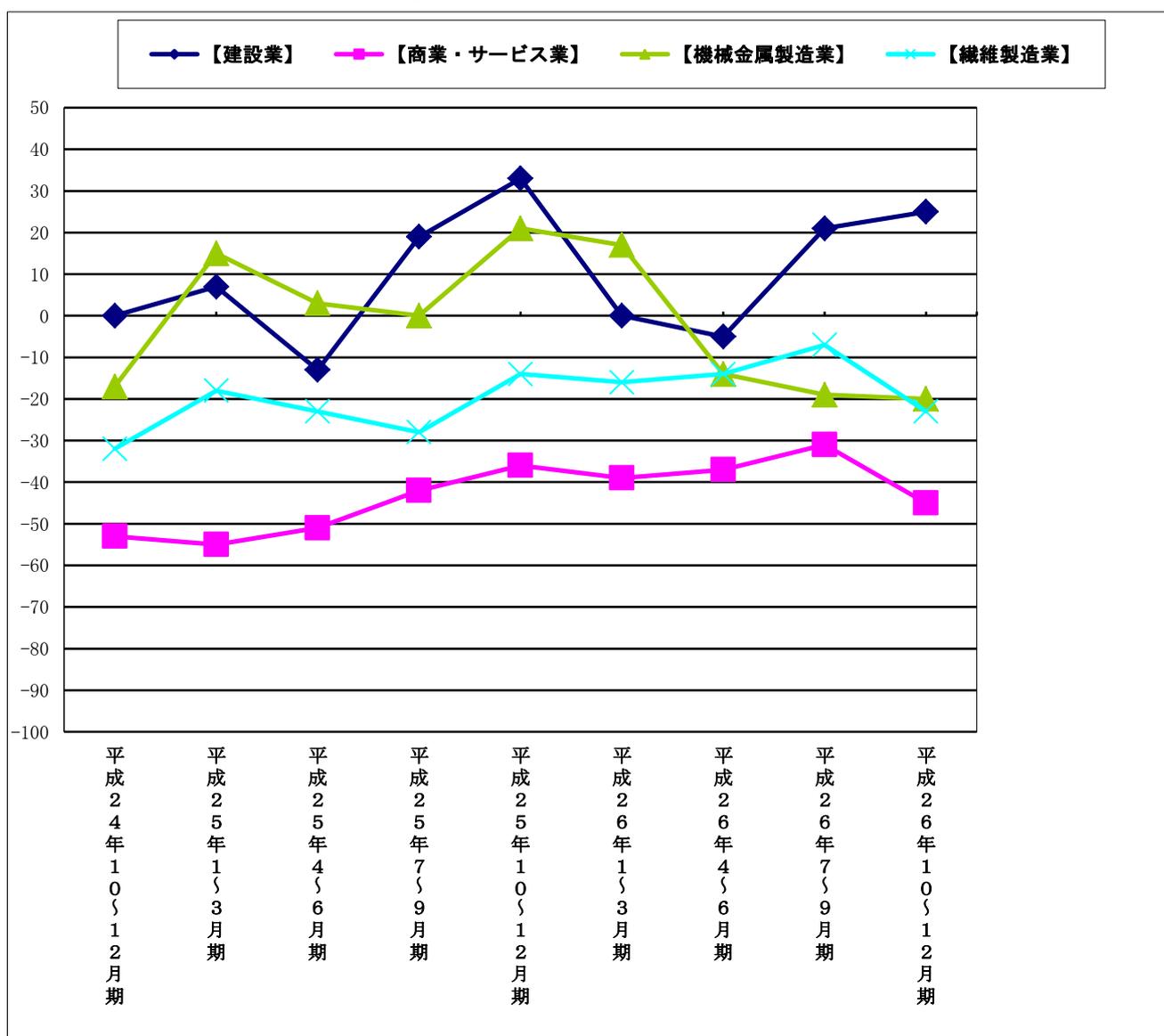
【繊維製造業】

- 今期業況 **今期の業況D Iは-20**。前期比では+4、前年同期比では+6ポイントであった。
業種別では、**撚糸業 [±0]、織物業 [±0]、染色整理業 [-75]、ニット・メリヤス業 [-33]、レース業 [-100]、縫製業 [+33]、刺繍業 [-20]**となっている。
- 来期業況 **来期業況予測のD Iは-8**。前期比+3、前年同期比+4ポイントとなった。

売上額（完成工事額）DIの推移

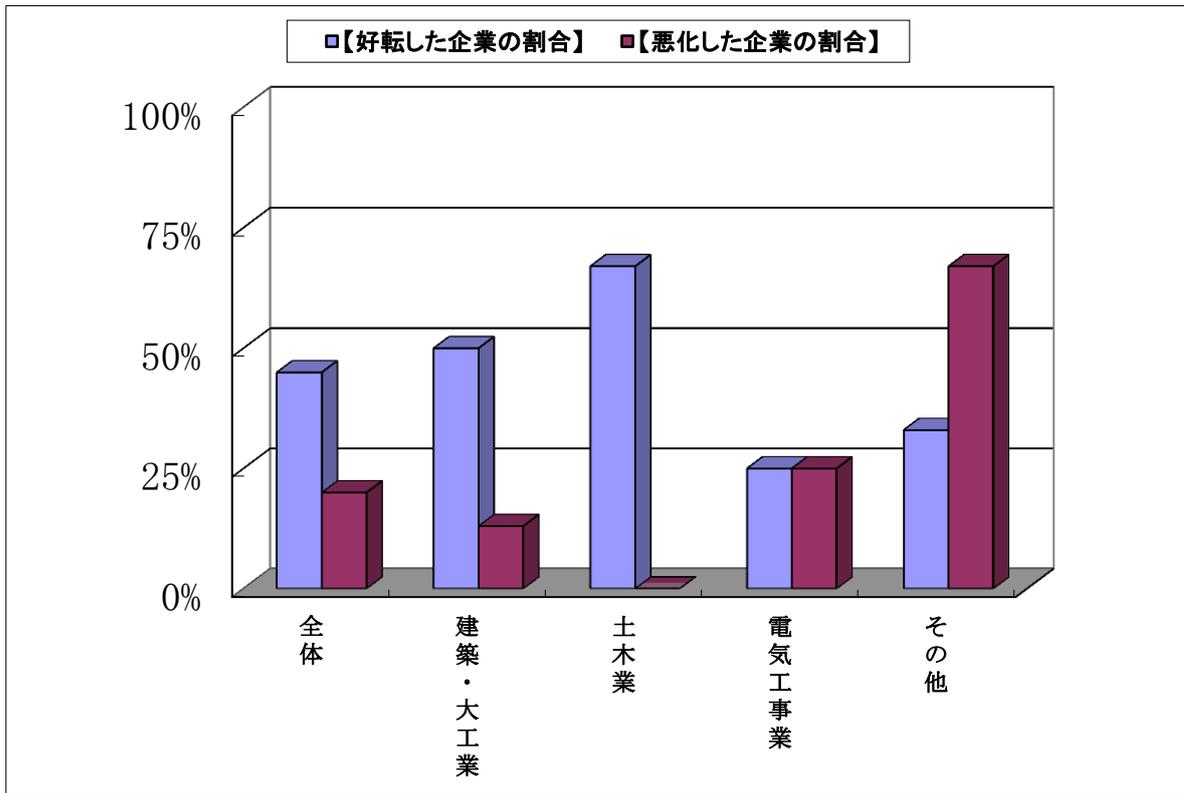
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
平成24年10～12月期	±0	-53	-17	-32
平成25年1～3月期	7	-55	15	-18
平成25年4～6月期	-13	-51	3	-23
平成25年7～9月期	19	-42	0	-28
平成25年10～12月期	33	-36	21	-14
平成26年1～3月期	±0	-39	17	-16
平成26年4～6月期	-5	-37	-14	-14
平成26年7～9月期	21	-31	-19	-7
平成26年10～12月期	25	-45	-20	-23

[平成24年10～12月期] から [平成26年10～12月期]

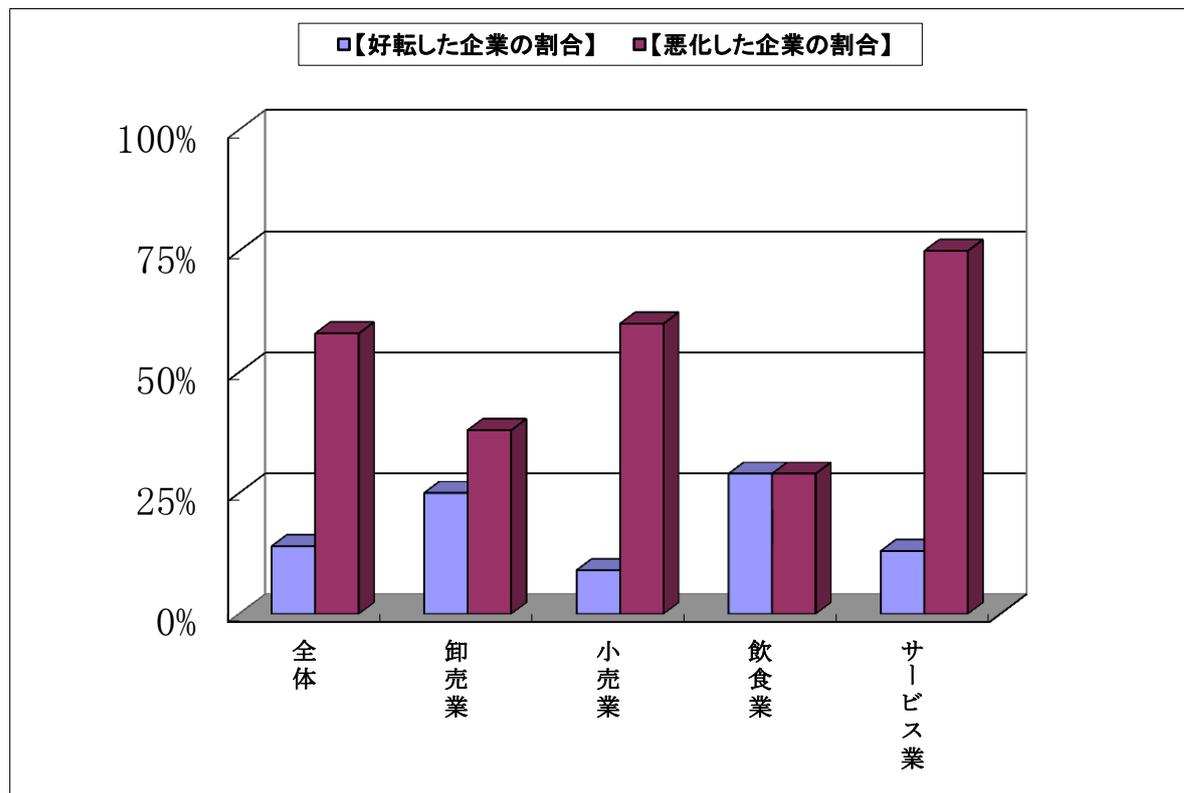


業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

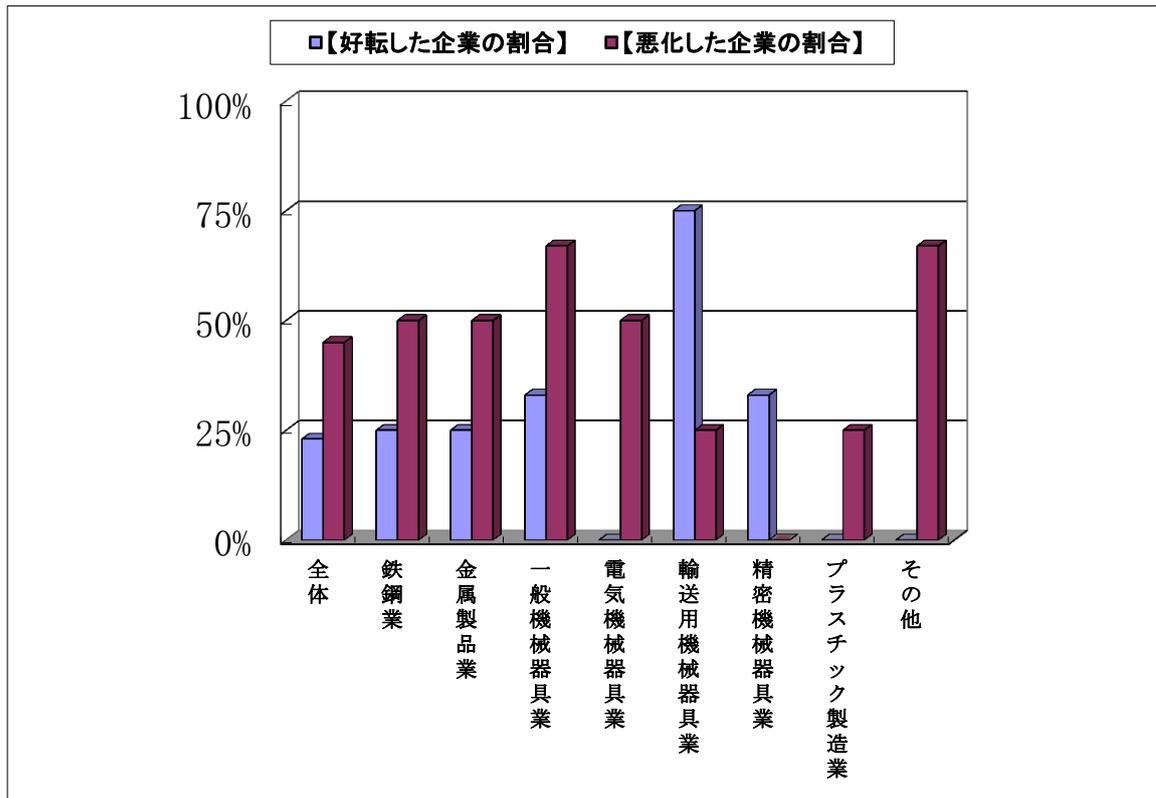
【建設業】



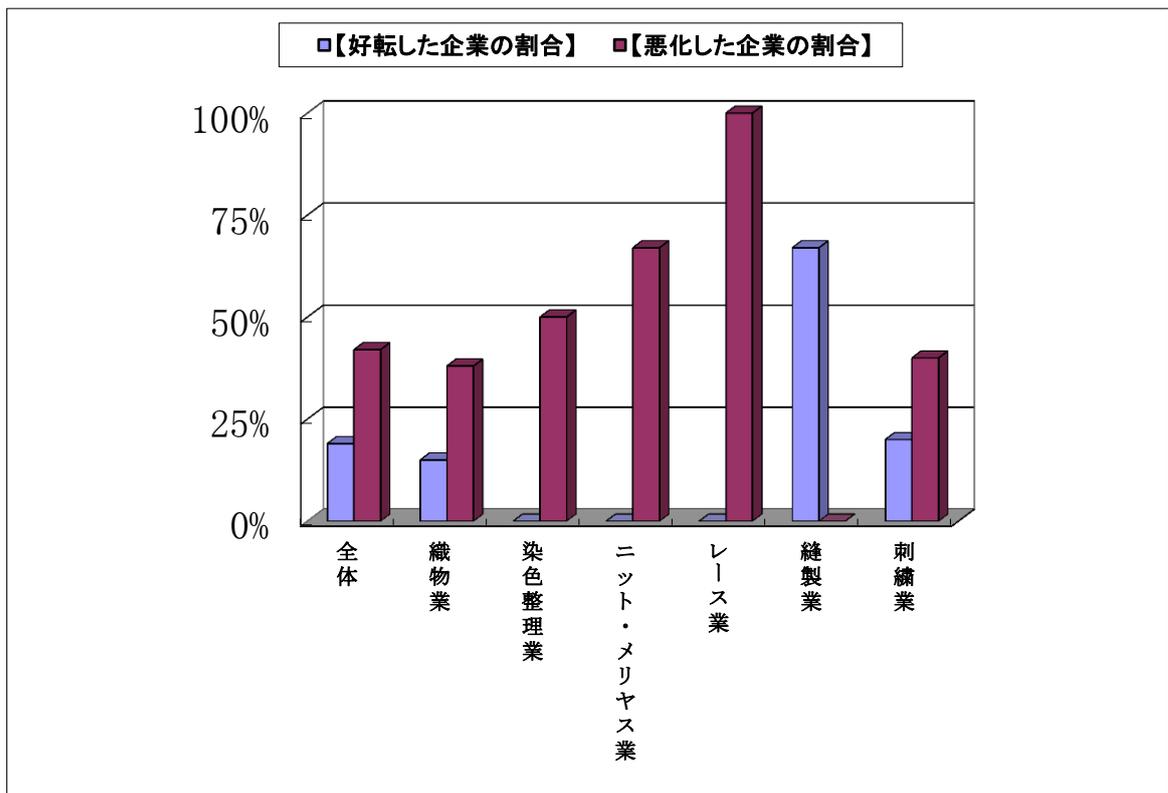
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



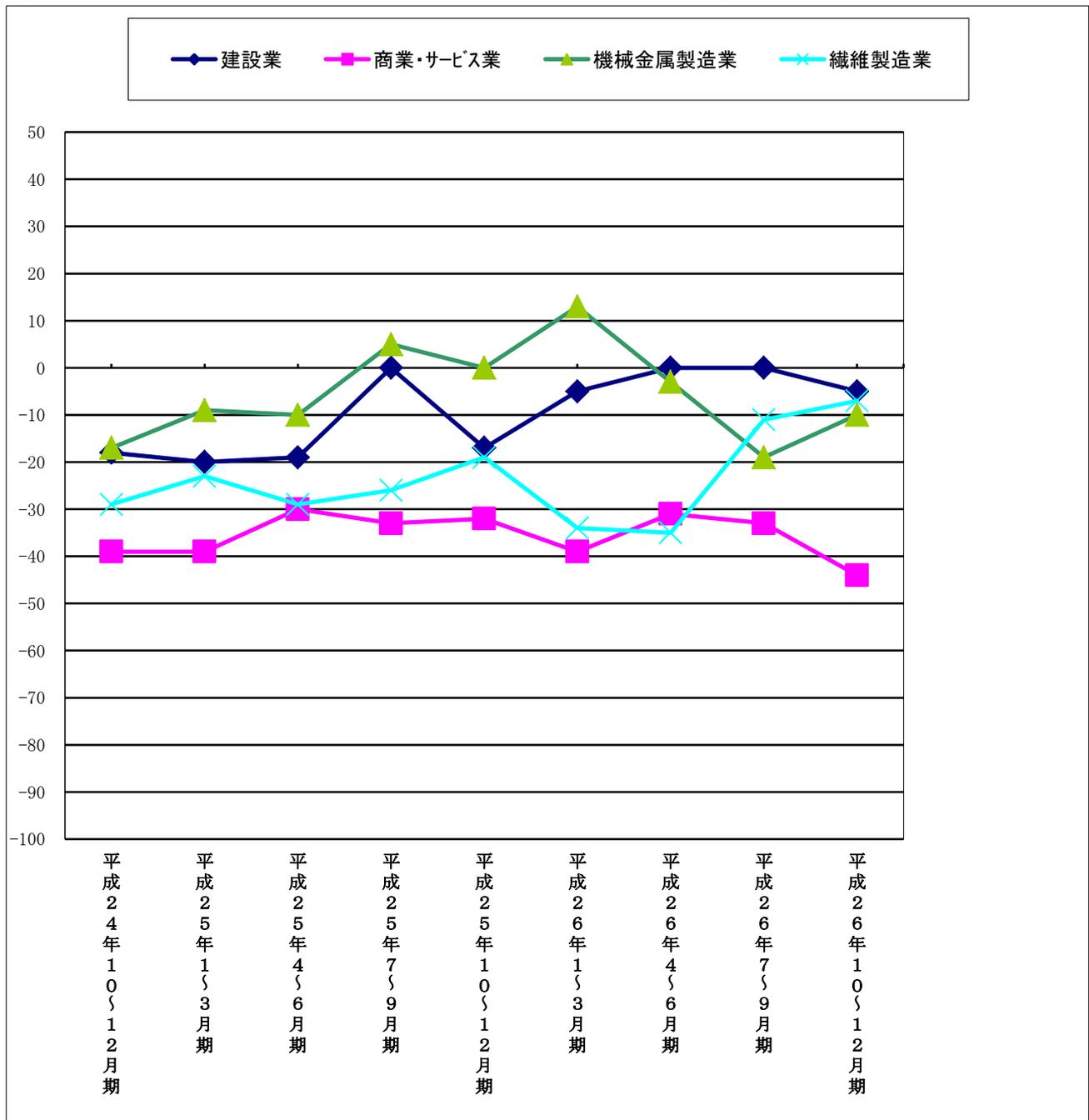
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
平成24年10～12月期	-18	-39	-17	-29
平成25年1～3月期	-20	-39	-9	-23
平成25年4～6月期	-19	-30	-10	-29
平成25年7～9月期	±0	-33	5	-26
平成25年10～12月期	-17	-32	±0	-19
平成26年1～3月期	-5	-39	13	-34
平成26年4～6月期	±0	-31	-3	-35
平成26年7～9月期	±0	-33	-19	-11
平成26年10～12月期	-5	-44	-10	-7

[平成24年10～12月期] から [平成26年10～12月期]



今期直面している経営上の問題点

	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
建設業	材料価格の上昇 14.5	請負単価の低下・ 上昇難 12.7	従業員の 確保難 10.9	下請業者の停滞 10.9	民間需要の停滞 10.9
前期	5位 7.5	5位 7.5	5位 7.5	2位 9.4	1位 13.2
前年同期	2位 12.0	6位 6.0	6位 6.4	4位 10.0	5位 10.0
商業・サービス業	需要の停滞 17.0	消費者ニーズの 変化への対応 11.3	購買力の他地域 への流出 11.3	販売単価の 低下・上昇難 8.2	大企業進出での 競争激化 7.7
前期	1位 19.7	2位 13.5	3位 7.6	3位 7.6	6位 5.8
前年同期	1位 18.8	2位 12.6	2位 12.6	4位 8.9	6位 7.9
機械金属製造業	需要の停滞 16.9	原材料価格の上昇 15.4	製品単価の低下・ 上昇難 13.8	原材料費・人件費 以外の経費の増加 12.3	生産設備の不足・ 老朽化 12.3
前期	1位 15.3	2位 12.5	3位 11.1	8位 5.6	3位 11.1
前年同期	2位 14.5	6位 7.2	1位 20.5	8位 3.6	3位 10.8
繊維工業製造業	需要の停滞 20.5	製品単価の低下・ 上昇難 16.9	原材料価格の上昇 15.7	熟練技術者の確保 8.4	取引条件の悪化 8.4
前期	1位 25.0	2位 23.6	4位 6.9	6位 5.6	8位 4.2
前年同期	2位 21.3	1位 22.5	3位 13.8	9位 2.5	8位 3.8

今期の従業員数D I

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
平成24年10～12月期	0	-8	-12	-6
平成25年1～3月期	7	-5	16	-6
平成25年4～6月期	6	-11	23	-10
平成25年7～9月期	6	-4	8	-9
平成25年10～12月期	-6	-9	16	-15
平成26年1～3月期	-5	-12	21	-14
平成26年4～6月期	22	-4	19	-12
平成26年7～9月期	26	-15	18	±0
平成26年10～12月期	20	-11	8	7

事業所からのコメント（直面している問題点など）

【建設業】

- ・人材の確保が困難
- ・新入社員の受け入れや定年退職された方で週2～3日の出勤を出来る方（軽作業）等、人材確保が必要。募集についての周知の仕方に苦慮している。

【商業・サービス業】

- ・企画、卸売などサービス業を併業しているが、交渉相手が資金調達の難しさを痛感しており当社の提案をスムーズに受け入れてもらえない状況がある。独立開業など色々な公的制度が打ち出されているが、実際申し込みをすると具体化出来る方向性が必要で、難しい。
- ・桐生の人口減少
- ・お客様の購買力が落ちているよう
- ・消費税の増税
- ・消費税の影響は大きい。デフレ経済による不況感は強い。需要の停滞があるので、2%消費税先送りは仕方がないものと思う。商店街のシャッター通り化が今の状況まで進行すると個店の努力では厳しいものがある。
- ・固定客の高齢化、死亡、ホームへの入居
- ・熟練工の高齢化と後継者がいない等の理由で廃業するメーカーが多く、売れ筋商品の供給がつかなくなってきた。若年層のお客はネットによる購買が増加。したがって小売業者の廃業、卸売業者も経営難となって廃業が増加している。
- ・景気、購買意欲の低下
- ・販売単価が低下の傾向にある

【機械金属製造業】

- ・自動車生産ラインの大型入替が減少しており、受注案件が小規模化している

【繊維工業製造業】

- ・消費税増税後の百貨店や専門店の売上が落ち込んだ状態が続いており、今後の回復の見通しが見えてこない